

ロシア軍によるウクライナ侵略が激しさをまし「核兵器使用」までちらつかす
 あらためて「核兵器禁止条約」の実効ある対応が求められている時

初の核兵器禁止条約締約国会議に 日本政府のオブザーバー参加を求める

日本共産党甲賀市 議員団が提案

こんな大事な意見書になぜ反対するのでしょうか…

ロシアプーチン政権によるウクライナへの侵略が激しさをましています。無辜の人々を傷つける残虐な殺傷事案が相次ぐなど、国連憲章にも国際法にも反するまさに戦争犯罪です。毒物化学兵器や核兵器使用までチラつかせる危険な動きも強まっています。しかし「核抑止」が如何に紛争解決につながらないかも明らかになってきています。いま世界から「ロシア軍は即時徹底せよ」「いまこそ核兵器禁止条約の徹底を」「日本政府は、六月に開かれる第一回の締約国会議にオブザーバー参加すべき」の声がひろがっています。ところが先の3月議会では、日本共産党甲賀市議員団が「日本政府に締約国会議にオブザーバー参加を求める意見書」を提案しましたが、賛成したのは、日本共産党の三名と無党派の福井議員のみで賛成少数で否決となりました。こんな大事な意見書になぜ反対するのでしょうか。

唯一の被爆国が被爆の実相を訴えることが重要

日本共産党の西山実議員は、提案説明の中で「核兵器のない世界を実現するためには、この条約に核保有国やその同盟国をはじめ、多くの国が参加し条約の効果的な運用と発展に向けた議論が行われることが極めて重要である。ノルウェーに続きNATO 北大西洋条約機構）主要国のドイツが、締約国会議へのオブザーバー参加を表明した。日本政府は、核保有国と核非保有国との分断を解消し、核兵器廃絶に向けた議論の共通の基盤を形成できる立場にある。唯一の戦争被爆国として核兵器のない世界をリードするためにも、核兵器禁止条約締約国会議にオブザーバー参加することを強く求める」と訴えました。

ところが3月25日の採決では、凍風会の瀬古幾司議員が「我が国としても安全保障に万全を期するためには核を含む米国の抑止力に依存することが否定できない状況であり、

第398号の訂正とお詫び
 前号の3月議会特集において以下の誤りがありました。訂正しお詫び申し上げます。

主な議案に対する各会派の態度
 「市職員の一時金削減条例改正」
 誤：共産党 ○○○
 正：共産党 ●●●

- 賛成の議員
 (日本共産党) 山岡光広・岡田重美・西山実
 (無党派) 福井進
- 反対の議員
 (凍風会) 橋本律子・田中新人・谷永兼二・橋本恒典
 林田久充・西村慧・瀬古幾司・西田忠
 (誠翔会) 小河文人・戎脇浩・里見淳・小倉剛・奥村則夫
 中島裕介
 (公明党) 田中將之・堀郁子・木村眞雄
 (無党派) 糸目仁樹・北田麗子
- 敬称略 *議長の中喜克議員は採決に加わらず。

ロシアは直ちに撤退せよ、ウクライナに平和を、と訴える「市民の会」。日本共産党の山岡・岡田・西山議員も揃って参加(4月2日、市役所前)。



日本共産党 甲賀市議員団ニュース 2022年 4月 17日 第399号	山岡 光広 甲南町森尻 16 Tel 86-2985 Fax 86-0415	岡田 重美 土山町南土山甲 78-15 Tel 66-0696 Fax 66-0696	西山 実 水口町本丸 3-28 Tel 62-3044 Fax 62-3044
---	---	--	--